

令和8年2月18日

報道機関各位

長岡市総務部庶務課長



市民がつくる「長岡空襲デジタルマップ」 プロジェクトワークショップを開催

5月の移転オープンに向け整備を進めている長岡戦災資料館は、「市民とともにつくり、成長していく」という開館時のコンセプトを継承しており、資料展示室に新たに整備するデジタルマップも市民参加のもと制作を進めています。

このたび、空襲時の人びとの足取りを昭和20年当時の地図にマッピングするワークショップを開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

市民がつくる 「長岡空襲デジタルマップ」プロジェクトワークショップ

- 日時 2月23日（祝・月）午後2時～5時
- 会場 ミライエ長岡5階 ミライエスタジオ
（大手通2丁目3番地10）
- 参加者 市内小中学生および保護者、大学生、小学校教諭など 22人
- 講師 谷 芳夫さん（長岡戦災資料館運営ボランティア 語り部）
- 内容
 - ・デジタルアーカイブの基本的な考え方のレクチャー
 - ・昭和20年8月1日（空襲当夜）の市民の足取りの読み取り
 - ・読み取った足取りのシステム入力
 - ・入力したデータを見ながらの参加者同士の共有※今回は、同プロジェクトの第2回です。1月25日に開催した第1回は、当時の写真や長岡空襲体験画を読み解き、現在の地図にマッピングする作業を行いました。
- その他 ワークショップ運営：株式会社 Eukarya
協力：東京大学大学院情報学環 渡邊英徳研究室

【 問い合わせ：庶務課 五十嵐 TEL0258-39-2203 】